

## WAからのお知らせ



### ふたばパソコン教室は順調

グループ〈わ〉が市立人材支援センター（長田区）で開催している「ふたばパソコン教室」は、2年目を迎え受講者は増えつつあります。24年度の実績は次の通りです。

▽第2回WORD講座 4月～5月で計5回、受講者5人。▽第3回デジカメ基本講座 7月～8月の計5回。受講者11人。▽第4回年賀状講座 10月4日から計5回。受講者6人。

【神戸の冬を支える会の初心者講習】①11月6日から計6回。受講者10人。②12月4日から計6回。受講者12人。③2月5日から計6回。受講者8人。

【人材支援センター主催 デジカメ講座】3月5日、12日。受講者15人。

### 〈わ〉会員増え1300人突破

グループ〈わ〉の会員が初めて1300人を突破、3月末で1308人になりました。17期だけでも150人が入会。コース別では音文が卒業生40人中28人が加入してくれました。新しいサークルのメンバーが全員加入したほか、ボランティア活動への関心が高まったせいではないか、と分析しています。

今年度も東北支援を継続し、福祉振興協会や各サークル、区会と協力して各種のイベント、学校支援などを幅広く展開します。卒業後の人生をより豊かにするために、〈わ〉の仲間に加わって活躍しませんか。年会費は1人1500円です。問い合わせは〈わ〉事務局（743-8101）へ。

#### ●学園祭から寄付3万円

第18回学園祭実行委員会（委員長・築山義俊、長田哲子）から「グループ〈わ〉の活動資金にを使って」とバザー売上金の一部3万円の寄付がありました。東北支援活動などに使わせていただきます。

#### ●一ノ谷の利用者は横ばい

グループ〈わ〉が運営している一ノ谷プラザ（須磨区）の24年度利用者は2月末現在14,255人、稼働率は34.2%でした。23年度と比べ、入場者・稼働率ともほぼ横ばいです。夜間の開館日を減らしたため効率が上がり、利用料収入が少し増えました。

●ヘルプ 滝谷ホーム（長田区）で、夜間、入寮者のお手伝いを募集中。月・火・水は20時～9時。土は17時～9時。交代制で1人月1～2回担当。1回6800円～8000円の手当てがあります。問い合わせは堀内昭（食6）TEL592-9297まで。（61号で電話番号が違っており再掲載しました）

●63号（7月号）の発行は2013年7月上旬です。

〈わ〉のメールアドレス=わ本部 group\_wa@wa-net.jp

## つふやき

### さあやろうボラ活動

人が動く4月は、ボランティアを始めるいい機会です。最近、読んだ本で次のような一節に出合い共感したので紹介しましょう。

〔第三の人生を豊かにするものとして、ボランティア活動があります。アメリカに興味深い調査があります。2,700人の男性高齢者について、ボランティア活動をしている人と全くしていない人に分けて10年間追跡調査をしたところ、ボランティア活動をしている人の方が、長生きするという結果がはっきり出ました。していない人の死亡率は3倍半も高かったということです。〕

確かにボランティア活動は、活動する人自身の幸福感にもつながっています。無償で他者のために働くボランティア精神は、それをする人に生き甲斐を実感させ、生きる喜びを味あわせてくれます。その結果、本人の健康にも良い影響が出てくるのでしょうか。〕

知人や後輩に声掛けをして、ボランティアの輪を広げませんか。

徳増芳男（生13・西区会）

## 編集後記



★私たちの東北支援活動に対し、厚労大臣から感謝状が届きました。会員・卒業生・在校生らオールKSCの協力があったればこそ、です。これを励みに3年目の支援に取り組みます。第4次チームの活動は、仙台の生涯学習施設・豊齢学園と合同でやろうと準備中です。

★カレッジ20周年。桜の植樹・記念碑・記念誌・音楽会・震災シンポジウム…。楽しいプランが進行中ですが、学園祭とドッキングしてにぎやかな記念ウィークになりそうです。グループ〈わ〉の新入会員も好調で、高齢化が進む中での朗報。〈新鮮力〉への期待は大、といったところです。

★厳冬一転、開花が急に早まって表紙を村の桜で飾ることができました。4月初め発行という本誌の制約から、これまで実現しませんでした。チャンス到来。やっと編集者の思いが叶えられました。歩けば梅・杏・木蓮・辛夷・桜桃。天を仰げば花粉・黄砂・PM2.5…。悩ましい春本番です。（広報・南形徹）

ぎやらりーわ wa\_gallery@wa-net.jp